

経済社会学会編

生活者優先社会にむけて

経済社会学会年報 XVII

1995

経済社会学会
現代書館発売

生活者優先社会にむけて／目次

〈特別講演〉 生活者優先を阻むもの

〈共通論題〉 生活者優先社会にむけて

共通論題のねらい

豊かな情報社会のヴィジョン——実験工房SFCからの報告——

熊坂報告へのコメント

社会システムの転換と労働時間短縮

森岡報告へのコメント

新価格革命と日本型経済システム

鈴木報告等へのコメント

共通論題「生活者優先社会にむけて」をかえりみて

〈準共通論題・自由論題〉

日本人の勤労観の形成と変化のメカニズム——仏教思想との関連——

「労働の人間化」の展開と労働社会のゆくえ

総合福祉政策論の視角——システムズ・アプローチの試み——

世界システムと長期波動——ポスト冷戦時代を展望して——

ECにおけるサブシディアリティの原理

ヴェブレンの社会進化の理論

日本企業における管理者の倫理観——米国管理者との対比において——

G HQにおける戦後社会福祉改革

市場社会主義の再検討——市場メカニズムと所有構造——

地球環境と女性——男性原理を止揚するエコフェミニズム——

加藤 寛……………7

丸尾 直美……………20

熊坂 賢次……………22

村本理恵子……………42

森岡 孝二……………45

香川 敏幸……………63

鈴木 幸夫……………68

丸尾 直美……………85

富永 健一……………90

保坂 俊司……………94

小林 甲一……………106

桜井 等至……………118

岡田 光正……………133

白井陽一郎……………152

佐々木 晃……………163

中野 千秋……………174

原田 克己……………191

鈴木 純……………201

大橋 照枝……………212

〈自由投稿〉

貨幣の自己準拠論と遂行的秩序論
公平賃金意識と男女間賃金格差

〈研究ノート〉

尾張藩船手役所による船方支配

〈書評〉

大野忠男著「自由・公正・市場——経済思想史論考——」
並木信義著「幸福の経済学」

田村正勝著「新時代の社会哲学——近代的パラダイムの転換——」

盛田常夫著「体制転換の経済学」

十名直樹著「日本型フレキシビリティの構造」

長谷川啓之著「アジアの経済発展と日本型モデル」

〈大会プログラム〉

〈経済社会学会会則〉

〈総括英文抄訳〉

〈編集後記〉

編集後記

昨年の編集後記で、作業の進行を早め、余裕をもって発行できるようにしたい、などと書いたが、それを読み返すと恥じ入るばかり。例年以上に進行は遅くなりました。二月に原稿を出していただいた執筆者の方には、深くお詫び申し上げます。ところで、年報の内容を一新し、報告集的性格から脱皮すべきだ、という声が次第に高まってきました。近いうちに改革案を考えたいと思います。(M)

来年一九九六年は学会創立三十年を迎えます。これに合わせて年報を刷新すべく、編集委員を中心に現在アイデアを出しているところ。質、量共に充実した、より開かれた年報にしたいと考えておりますので、会員の皆様も何かアイデアがありましたら、編集委員のほうにお聞かせください。(On)

オウム問題・経済の停滞等々と混乱しつづける日本社会には、革命的な変革が必要とされている。

このような経済・社会の状況を反映してか、本誌の構成にも「学会記事」に代えて「大会プログラム」を掲載するという変革を試みました。経済社会学会の益々の発展のために御意見をお待ちします。(H)

生活者優先社会にむけて 経済社会学会年報 XVII

1995年8月31日 初版第1刷発行

編者 経済社会学会年報編集委員会

編集者代表 間々田 孝 夫

発行者 富 永 健 一

〒277 柏市光が丘2-1-1 麗澤大学国際経済学部気付

経済社会学会

電話(0741)73-3604

発売所 株式会社 現代書館

〒101 東京都千代田区三崎町2-2-12

電話(03)3261-0778 振替 00120-3-83725

写 植 一 ツ 橋 電 植

印刷・製本 平 河 工 業 社

ISBN4-7684-7764-X C3033 P3605E

富永 健一	植村 利男	福田 亘	山崎 益吉	宇佐見義尚	長屋 泰昭	林 順子	居神 浩	橋本 努
291	286	281	276	271	265	249	239	226

経済社会学会 年報編集委員会

委員長 間々田 孝夫

鉢野 正樹

居安 正

園田 茂人

恩田 守雄

桑原 武夫

保坂 俊司

大西 秀典

竹下 公視